



地震による各種高専行事の中止

都立産技高専 吉田喜一

3月11日(金)の地震の時、私は1階の実験室で卒研究生やロボ研の学生諸君と3月から来年度にかけての研究計画について話し合っていました。突然の大きな揺れに驚き、学生と外に飛び出しました。地面の上でも大変大きな揺れで、小さな船に乗っているような感じでした。

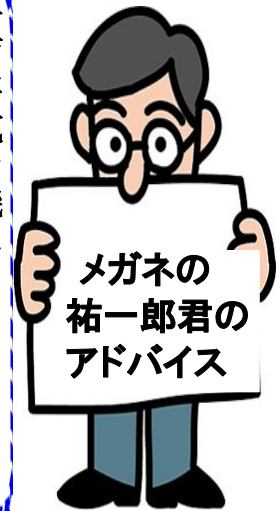
6階の私の研究室に戻った時、また大きな地震が来ました。高いだけあってこれも相当大きな恐怖感のする揺れでした。山積みになっていた書類や道具等が散乱して、コンピュータのディスプレイが机から落下していました。幸い本棚、ロッカー等は転倒していませんでした。

この翌日12日(土)から荒川区の産業展が予定されていました。4時前に運送業者が予定通り見えました。学生諸君と中学生ロボコンのフィールドとマシン、NHK高専ロボコンのマシン、小中学生向けものづくり講座の各種材料・道具、学校宣伝のパンフレット等をトラックに詰め込み、総合スポーツセンターに2回に分けて持ち込みました。自転車に乗っていない学生もいた

ので歩いて高専に戻りました。その時明治通りを歩いて移動する人の多さにはびっくりしました。

5時過ぎに学校に戻りました。少したつて産業展中止の連絡が来ました。相当たくさんさんの交通機関がストップしていました。自転車等で帰宅できる学生はできるだけ早く帰宅するよう指示が出ました。しかし帰宅できない学生が学校全体で数十人いました。私の関係していたロボ研の学生、研究室の学生で帰宅できない学生は20人ほどいました。学生課が若干の食料と毛布を用意してくれました。なお外部の方にも学校を開放しました。余震の続く中まんじりともせず一晩あかしました。翌日の土曜日はすべての学生が帰宅できたのは午後でした。

私は3年生の担任ですので、学生の安否確認を行いました。電話等は大変繋がりがりづらい状況でしたが、幸い全員けがもなく元気でいることが確認できました。その後21日まで学生の登校禁止が決まりましたが、さらに現在では31日まで登校禁止措置がとられました。また、昨日(17日)の卒業式、今日(18日)の終業式も中止になりました。私の研究室の学生が発表を予定していた機械学会の卒業研究発表会も中止になりました。私も明日(19日)機械学会で発表予定だったのですが、これも中止になりました。原発が相当心配な状況ですが、国民・行政の総力をあげてこの地震災害を乗り越えましょう。



計画停電を機に電力浪費について考える

こんにちは。メガネのサトウ4代目です。今年こんにちは。メガネのサトウ4代目です。まず、この度の東北・関東大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。私の家は福島県に色々縁が多く(両親共に親族多数在住、何より母は福島県出身、当家の菩提寺も福島県伊達市にあります)、当初3日位は電話も繋がらなかったため大いに心配しました。幸い、親族一人も怪我をせず無事だということですが、今なお水道が復旧していないところが多く、さらに原発事故の行方もあって、まだまだ毎日がかりです。

「もつと綺麗に」「もつと店を大きく」「もつと照明を明るく」ということを推奨され、実行は基本中の基本で、私も以前勤めていた頃の研修で「暗い店にはお客さんが来ない。明るい街灯に虫が集まるように、人もまた明るい店に集まるものだ。」とまことしやかに講師が語っていたのを覚えています。

増える電力消費を、化石燃料に頼らず賄うべく推し進められた原子力政策は、今回の事故により福島を始め多くの地域の人々を恐怖に陥れ、まさに大きな転換点を迎えるようとしています。エアコンがガンガン効いた巨大ショッピングモール、何十台ものテレビが一齐に映る電器店、まぶしいくらいに明るいコンビニやドラッグストア、小売業の世界も、電力浪費に決別し、常識を変えなければならぬと思うのは、私だけでしょうか？



【消費生活アドバイザー 佐藤 祐一郎】

◆メガネのサトウ◆

南千住5丁目43の13【コッ通り】
TEL 03(3806)4930

★休業日のごあんない：当店は不定休です★

3月：31(木) ※29(火)は営業します

4月：9(土)・19(火)・29(祝)

★営業時間のご案内：平日は短縮営業です

★平日(月～金)：AM 9時30分～PM 6時

★土・日・祝日：AM 10時30分～PM 6時

今、周囲を見回してみると、一部の無頓着な店舗や事業所を除き、節電に前向きに取り組んでいるように見えます。照明が多少暗かったり、看板が消えていたりしたところで、それが半ば常識になってしまえばどうということはないと感じます。メガネ店、小売業という立場から改めて考えてみると、普段いかに多くの電力をまさに「浪費」していたか、反省させられます。競争の激しい小売業の世界では、勝ち残るためには他店よりも「もつと便利に」「もつと安く